

Ⅲ 生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の実践事例

碧海農業フェスティバルの開催

碧海地区の農業関係5団体（農業経営士、農村生活アドバイザー、青年農業士、4Hクラブ、農村輝きネット）は、碧海農業フェスティバル実行委員会（事務局 農業改良普及課）を組織し、毎年開催場所を変えて「碧海農業フェスティバル」を開催しています。

平成23年は、「とどけます！—碧海農業の心と食と技—」をテーマに、農業者が心を込めて生産した農産物の直売や農業で培った知恵や技を生かして、各団体ごとに「農畜産物の即売」、「手づくり和菓子の試食」、「食育に関する寸劇（水土里の学校）」、「野菜当てゲーム」、「なしの試食」、「クリスマスのガーデニング」、ラジオパーソナリティー堀江美穂氏による「トークショー」の開催など盛りたくさんの内容で、消費者との交流を深める中で、お互いの思いを伝え合い地域農業の活性化を図りました。

実施主体：碧海農業フェスティバル実行委員会

実施日：平成23年11月27日（日）

場所：碧南市 あおいパーク



IV 「農のある暮らし」の実践事例

水門・排水機場のしくみ(出前授業)

一色西部小学校の児童に対して、身近な土地改良施設を紹介する出前授業を行いました。多くの児童がいつも何気なく目にしていたけれども、「何なのか分からなかった施設」の役割などが分かり、非常に感動していました。

開催日：平成23年10月26日(水)
 対象者：一色西部小学校4年生(45名)
 実施主体：幡豆農地整備出張所
 授業内容：

- ①パソコン教室で、小学生にも理解し易い様にパワーポイントを使い、水門と排水機場の役割や重要性についての説明。
- ②小学校近くの北浜川水門、巨海排水機場に移動し、普段見ることができない施設内部を見学。



明治用水でお魚の勉強会

明治用水の中井筋の排水路改修工事に併せて生き物調査を行い、工事に伴い魚類を移動させるなど生態系に配慮した工事を行っていることを子供達が見て、環境保全の大切さを感じてもらいました。

子供達は、日頃生き物に触れることが少なく、また、工事現場にも普段近づけないため大変喜んでいました。

開催日：平成23年11月30日(水)
 場所：県営かんがい排水事業
 中井筋依佐美地区
 見学者：高棚小学校 4年生(約60名)



海の自然観察会の実施

幡豆地区の海岸は、他に類を見ないほど美しい変化に富んでおり、なかでも東幡豆の干潟は愛知県唯一のトンボロ干潟(干潮になると陸と島が繋がる干潟)があります。

このトンボロ干潟で生息する海の生物や干潟等の保全活動の大切さを子供達に知っていただくために「海の自然観察会」を実施し、生物の生態観察や採集を行いました。

実施主体：幡豆地区干潟・藻場を保全する会
 実施日：平成23年9月9日(金)
 参加者：104名
 場所：西尾市東幡豆町 中の柴海岸



少年水産教室の開催

県水産試験場では、漁業地域の中学生を対象に少年水産教室を開催し、海に関する知識及び水産業に対する関心を高めています。今年も西三河管内の漁業士が講師として参加し、ロープ結び、カッター漕艇及び地引き網の体験実習を指導しました。

実施主体：愛知県水産試験場
 実施日：平成23年8月2日(火)
 参加者：13名
 場所：蒲郡市



佐久島のクラインガルテン（都市と島民との交流）

三河湾に浮かぶ離島・佐久島（西尾市一色町）に、宿泊滞在型農業体験施設「西尾市佐久島クラインガルテン」が、平成24年3月15日に開園し、4月1日にオープンしました。

この施設は、佐久島の遊休農地の活用を図るとともに、都市と離島の人々が交流を目指して、西尾市が宿泊施設10棟（菜園70㎡付き）、管理棟、休憩施設兼バーベキュー場等を整備したもので、離島では全国で初めての試みです。

入居者は、海のない長野県2名・奈良県1名と県内7名（市外）の10名で、菜園での野菜づくりと島内で開催されるイベント等に積極的に参加し、島民との交流を深めることとなります。



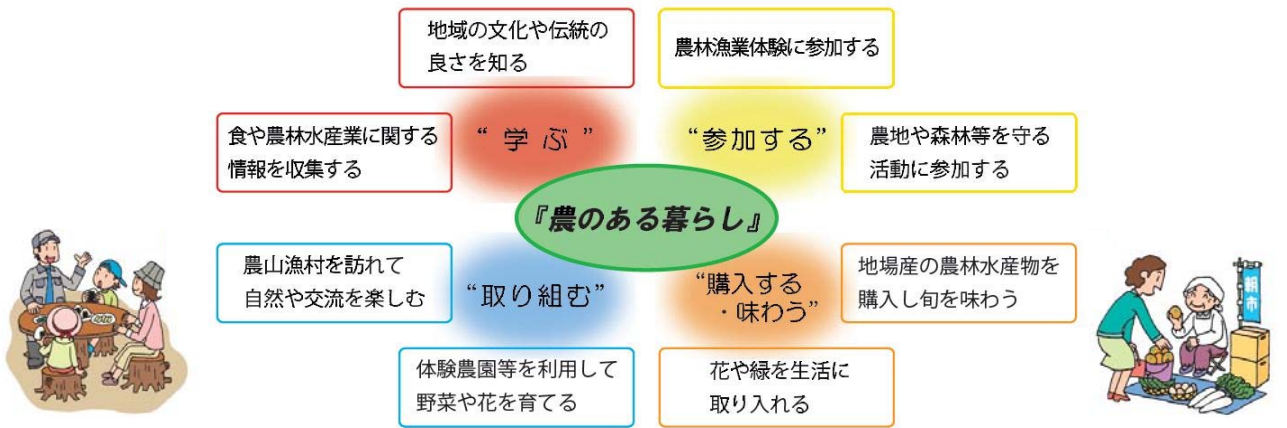
花を持って歩こう「フラワーウォーク in 西三河」

フラワーウォークとは、愛知県花き温室園芸組合連合会が平成20年から提唱している運動で、生産者自らが街へ出る機会に花を持って参加し、県民に花のある暮らしを提案しようというものです。

西三河総合庁舎でもこの取組に賛同し、年数回、地元で生産された新鮮な切り花や鉢花を職員にワンコイン（500円）で購入いただき、家に持ち帰っていただいています。

最近は男性の参加者が増えており、日頃、あまり花に関心のない男性にも花のよさを感じていただいているようです。

また、平成23年度からは、西尾市役所でも新たに取組が始まりました。「フラワーウォーク」がさらに他の市町や関係機関へ拡大し、花のある暮らしの普及と花の消費拡大につながることを期待しています。





食と緑の西三河地域レポート '12
—明日の食と緑を育む西三河の農林水産業—

平成24年7月発行

愛知県西三河農林水産事務所
岡崎市明大寺本町1-4
電話 0564-23-1211 内線 2436 (農政課)
電子メール nishimikawa-nourin@pref.aichi.lg.jp



西三河農林水産事務所